

2008.6.14

# 大作曲家の隠れた名曲・佳曲を集めて

## プログラム

これまで“知られざる名曲を聴く”というシリーズを何回か特集しましたが、今日はその姉妹編として、大作曲家の隠れた名曲、佳曲を集めてお聴きいただきます。軽やかな曲想と美しい流動性に溢れたシューベルトの第5交響曲、短調の劇的な表現と緊張感がいかにもベートーヴェンらしい第4四重奏曲、心踊るような美しさに満ちたヘンデルのハープ協奏曲、ロマン的な抒情がたっぷり流れ出るシューマンのヴァイオリン協奏曲、もの悲しい響きの中から美しさが滲み出るグリークの歌曲。バイロンの詩劇に基づいて書かれたのマンフレッド交響曲は、交響詩とも言える標題音楽ですが、激しい劇的な表現とロマンティックな叙情性が交錯するチャイコフスキーらしい名曲です。比較的聴く機会の少ない作品ばかりですが、それぞれの魅力を感じ取っていただければ、と思います。

\*\*\*\*\*

### フランツ・シューベルト (1797~1828) :

交響曲第5番変ロ長調D.68 ~ 第1楽章、第2楽章~ 第4楽章抜粋

カール・リヒター指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1978. 6. 4 ウィーン・ムジークフェラインザールLive)

### ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827) :

弦楽四重奏曲第4番ハ短調18-4 ~ 第1楽章から、第3楽章、第4楽章

ジュリアード弦楽四重奏団  
(1997. 6. 2 カザルスホールLive)

### ゲオルク・フリードリッヒ・ヘンデル (1685~1759) :

ハープ協奏曲変ロ長調 ~ 全曲

吉野直子 (ハープ)  
小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1988. 6. 21 ベルリン、フィルハーモニーホールLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

### ロベルト・シューマン (1810~1856) :

ヴァイオリン協奏曲二短調 ~ 第1楽章から第3楽章抜粋

ヘンリク・シェリング (ヴァイオリン)  
オーガン・ドナルク指揮バイエルン放送交響楽団  
(1980.1.10 ミュンヘン、ヘルクレスザールLive)

### エドワルド・グリーク (1843~1907) :

歌曲“白鳥”(6つの詩op.25の2)

歌曲“春”(12の歌op.33の2)

バーバラ・ボニー (ソプラノ)  
マリス・ヤンソンス指揮オスロ・フィルハーモニー管弦楽団  
(2000. 4. ウィーン・ムジークフェラインザールLive)

### ピョートル・チャイコフスキー (1840~1893) :

交響曲“マンフレッド”ロ短調op.58 ~ 第1楽章から、第3楽章から、第4楽章

エフゲニー・スヴェトラーノフ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1989. 3. 5 ベルリン・フィルハーモニーホールLive)